

公正取引委員会競争政策研究センター国際シンポジウム ～カルテル・談合の経済分析と独占禁止法～

主 催 公正取引委員会競争政策研究センター（CPRC）、株式会社日本経済新聞社

1 開催趣旨

競争政策への経済分析の活用として、企業結合規制での活用に加え、カルテル・談合規制においても、カルテルが発生しやすい産業の構造的要因の分析、カルテルの疑いのある産業における価格等経済変数の動きや公共工事における入札価格と生産費用の分析からカルテルや談合の存在を推定する方法など、経済分析の活用の可能性が議論されています。また、米国、欧州、韓国などでは、共謀の立証や損害額の算定に経済分析が活用されています。

そこで、本シンポジウムでは、米国及び欧州において、カルテル・談合規制の経済分析に精通する著名な経済学者をお招きし、第1部では、カルテル・談合規制における経済分析の活用に関する研究の動向や課題等について講演していただき、第2部では、パネルディスカッションとして、コメンテーターとして独占禁止法違反事件の審判等に携わる弁護士を交え、カルテル・談合規制における経済分析の貢献の可能性等について議論を進めることを目指します。

2 講演者・コメンテーター

《基調講演者》

1 ロバート・ポーター（Robert Porter）

テーマ：“Detection of Collusion in Auction Markets”
“オークション市場における共謀の摘発”

略 歴：1981年プリンストン大学にて博士号（経済学）を取得。現在、ノースウェスタン大学経済学部教授。専門は、産業組織論。

2 カイ-ウーヴェ・キューン（Kai-Uwe Kühn）

テーマ：“Better Antitrust Enforcement Against Cartels: What Can We Learn from Economic Research?”
“カルテルに対するより良い競争法の執行—経済学研究から学べることは何か？”

略 歴：1991年オックスフォード大学にて博士号（経済学）を取得。現在、欧州委員会競争総局チーフエコノミスト・ミシガン大学経済学部教授。専門は、産業組織論、ミクロ経済学。

3 大橋弘（おおはし・ひろし）

テーマ：「カルテル規制における経済学の活用：我が国における現状と課題」

略 歴：2000年ノースウェスタン大学にて博士号（経済学）を取得。現在、CPRC 主任研究官、東京大学大学院経済学研究科准教授。専門は、産業組織論、貿易政策。

《コメンテーター》

宮川裕光（みやかわ・ひろみつ）

略 歴：1996年弁護士登録。ニューヨーク州弁護士。2006年ジョーンズ・デイ法律事務所に入所（アソシエイト）、現在、同事務所パートナー。専門は、競争法。

3 開催日

日 時：平成24年3月9日（金）13:30～17:20

会 場：国際連合大学本部施設「ウ・タント国際会議場」（3階）（渋谷区神宮前5-53-70）

〔 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅B2出口から徒歩5分、
渋谷駅から徒歩10分 〕

※国際連合大学本部施設に駐車場はありません。また、全館飲食・喫煙はできません。

※地図→ <http://jp.unu.edu/about/contact-us>

開催言語：英語及び日本語（同時通訳あり）

開催終了いたしました。

問い合わせ先：公正取引委員会競争政策研究センター事務局
(公正取引委員会事務局経済取引局総務課経済調査室)
電 話：03-3581-1848 又は 5480 (いずれも直通)
F A X：03-3581-1945
E-mail：cprcsec@jftc.go.jp

4 プログラム

<開会の辞>

13:30-13:40 竹島一彦公正取引委員会委員長

<第1部 基調講演>

13:40-14:20 テーマ：“Detection of Collusion in Auction Markets”
“オークション市場における共謀の摘発”

講演者：ロバート・ポーター ノースウェスタン大学経済学部教授

14:20-15:00 テーマ：“Better Antitrust Enforcement Against Cartels: What Can We Learn from Economic Research?”
“カルテルに対するより良い競争法の執行－経済学研究から学べることは何か？”

講演者：カイ-ウーヴェ・キューン 欧州委員会競争総局チーフエコノミスト・ミシガン大学経済学部教授

15:00-15:30 テーマ：カルテル規制における経済学の活用：我が国における現状と課題

講演者：大橋弘 CPRC 主任研究官・東京大学大学院経済学研究科准教授

<休憩>

15:30-15:50

<第2部 パネルディスカッション>

15:50-16:50 モデレーター：小田切宏之公正取引委員会委員

パネリスト：上記講演者3名

コメンテーター：宮川裕光ジョーンズ・デイ法律事務所弁護士

(コメンテーター討論 10 分，パネルディスカッション 50 分)

16:50-17:20 フロア・ディスカッション

<閉会の辞>

17:20 荒井弘毅 CPRC 次長

5 本シンポジウムのテーマに関する CPRC の研究成果

CPRC では、「カルテル規制における経済分析の活用」という研究テーマの下，カルテルと産業の構造的要因との関係について実証的に検証するとともに，この検証結果を基にカルテルの生起確率の予測を行いました。この研究からは，カルテルの生起確率の予測は競争当局がどのような産業に監視の目を注力すべきかについての有用な指針を与えるとの示唆が得られています。また，CPRC ハンドブック「競争政策で使う経済分析ハンドブック」の第2章の「談合の経済分析」においては，データに基づいた談合検知の手法について紹介しています。

これらの報告書については，CPRC ホームページで公表していますので，御興味のある方はこちらも併せて御覧ください (<http://www.jftc.go.jp/cprc/reports/reports.html>)。

6 講演資料等

[講演資料①](#) (ポーター教授)

[講演資料②](#) (ポーター教授 [仮訳])

[講演資料③](#) (キューン教授)

[講演資料④](#) (大橋准教授)

[講演資料⑤](#) (宮川弁護士)